

卒業生代表挨拶



冬の寒さも和らぎ、木々につぼみも芽吹き、暖かい風とともに春の訪れを感じる季節となりました。

本日は、私たちの門出にこのような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。卒業生一同心より御礼申し上げます。学院長の大河原先生、学長の瀬口先生をはじめ、教職員の皆様からの温かいまなざしと、学長先生からは御心のこもったお祝いと励ましのお言葉を頂き、卒業生一同、感謝の念で一杯です。

卒業を迎えた今、私たち一人ひとりの胸には、様々な想いが溢れています。思い返すとこの武庫川女子大学で様々な経験をさせていただきました。共通科目では専門科目以外に興味があることを学べ、他学科の人と繋がり、新たな刺激をもらうことができました。日々の授業では、各自の専門分野について多様な視点から深く学ぶことができました。さらに、体育祭や文化祭、丹嶺学苑での宿泊研修などの行事、また部活動やサークル活動、ボランティアや留学など様々な経験を通し、とても充実した大学生活であったと実感しております。

しかし、充実した大学生活の中で辛く苦しいこともたくさんありました。勉学は想像以上に学ぶ内容が多岐にわたり、定期試験では範囲の広さに戸惑うこともありました。実技練習や教員免許取得に向けた模擬授業の準備のために朝早くから夜遅くまで学校に残り、友人たちと支え合い、時には泣きながら一緒に乗り越えてきました。私の武庫川女子大学での一番の思い出は、二年生の時に行った文化祭のミュージカル「美女と野獣」の公演です。振り付けや構成、音楽、衣装、照明、舞台すべてを一から学生だけの手で作り上げていくという、はじめての大きな機会でした。日々の練習も大変でしたが、本番を無事に終え拍手をもらった瞬間の喜びと一体感は今でも忘れられません。この公演を通して素晴らしい仲間恵まれ、先輩や後輩との交流も出来ました。今までの私には無かった考え方やものの捉え方、価値観に触れ、視野を広げる機会となりました。

大学生活の中で家族よりも長い時間を共に過ごした友人たちは一生の宝物です。また、時には優しく、時には厳しい先生方のご指導があったからこそ、私は今ここに立つことができました。深く感謝しております。

在学生の皆さん、本学には皆さんが興味のあることを学び、挑戦するための素晴らしい環境があり、学生のことを親身になって考えてくださる先生方、そして高い志を持った仲間がいます。この恵まれた環境の中で、大学生活を通じて皆さん一人ひとりが抱えている夢を実現されることを願っています。

私たちは四月から、これから社会に出る者、さらに進学して学問を究める者と、それぞれが決めた道を歩み始めます。これからの生活の中で、この武庫川女子大学で学んだことを生かし、社会に貢献していく自覚を持ち、一人の人間としてその務めを果たしていきます。そして、私たちを支えてくださるすべての皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、日々精進してまいります。

今日まで私たちを温かく見守りご指導いただいた学長先生を始めとする諸先生方、職員の皆様に深く御礼申し上げます。

また、支え合い励まし合ってきた大切な友人や、私たちを見守りあらゆる面で支え続けてくれた家族に対して、改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、武庫川女子大学関係者の皆様のご健闘とご多幸をお祈りしますとともに、母校の更なる発展を願いつつ、卒業生代表挨拶とさせていただきます。

令和3年3月21日

武庫川女子大学 生活環境学部／音楽学部／薬学部／看護学部

卒業生総代 音楽学部演奏学科

今井 紀子